

新入職者に望む保育者としての実践能力と資質について

—保育園、幼稚園、認定こども園へのアンケート調査より—

大津 泰子*¹

佐竹 由佳*²

The Required Childcare Practical Ability and Quality for Newcomer Childcare Workers -From A Questionnaire Survey of Childcare Workers in Nursery School, Kindergarten and Early Childhood Education and Care (ECEC) -

Yasuko Ootsu

Yuka Satake

Abstract

This study is conducted in the "Practical training for childcare" class of the nursery teacher training curriculum. In this study, we conducted a questionnaire survey of nursery schools, kindergartens, and early childhood education and care (ECEC) to investigate the ability and quality for newcomer childcare workers.

As a result, newcomer childcare workers are highly evaluated for their practical abilities such as "Ability to practice childcare according to children's characteristics and individuality" and "Responding to Parents".

As for their qualities, "Trust and responsibility for children" and "Awareness and sense of responsibility as a member of the organization" are highly expected.

Compared to practical ability and quality, new employees are expected to have not only practical ability but also higher quality.

It is also found in free answers that students should acquire the standard level of practical childcare ability and the code of conduct as a member of society before graduating from the childcare teacher training course.

*¹ 2019年度「保育実践演習」において調査しまとめた内容を、再構成しリライトした。

*² 2019年度「保育実践演習」において研究し一部ポスター発表したものである。2020年3月卒業。「ひばりキッズ・ジュニア鞍手いちょう（児童発達支援 放課後等デイサービス）」保育士

Key words: childcare worker, nursery school, kindergarten, early childhood education and care (ECEC), childcare practical ability and quality

はじめに

保育士の国家資格化の施行や、家庭の子育て機能の低下、共稼ぎ世帯の増加による待機児童問題、特別な支援を必要とする子ども・家庭の増加により、「保育の質」「保育士の専門性」について、保育関係機関、各養成校や研究者による議論・研究が進められてきた。また、それぞれの養成校においても卒後調査や在学生の調査などが実施され、現状把握や課題解決に向けた取り組みも行われている。

しかし、保育者養成校の中には、保育者として十分な知識や技術を身に付けられず、また社会人としての意識も不十分なまま卒業し現場に出ていく学生がいることも事実である。全国保育士養成協議会(2019)が行った現場で働いている保育士への聞き取り調査でも、資格取得のシステムや養成校の教育の在り方について、課題が挙げられている。

さらに、希望していた保育士資格を取得し保育現場での仕事に就いたにも関わらず、理由は様々であるが離職率は高く、国が実施した保育士の離職に関する調査でも保育現場の厳しさが指摘されている。また、初めて社会に出て直面する様々な厳しさや自分の力不足に、悩みを抱えているケースも少なくない。

今回の調査では、本学学生が保育実習に行く地域の保育現場で求められる保育者としての「技術や知識」「資質」と、養成校に何が望まれるのかについて知りたいと考える。そして、本学に求められる学生の資質と課題について明らかにすることで、「保育士の専門性」の向上にむけて本学での学びを考える機会となると思われる。さらに、学生自身においても学びの方向性や目標が明確になることで、就業意識の向上につながると考える。

1. 調査の目的・方法

(1) 目的

本研究は、保育現場で求められる保育者の資質と実践能力に関するアンケート調査結果を分析することにより、保育現場が求める保育者の資質や保育実践能力を明らかにし、学生が短期大学の学びを通して新入職者として何を身につけるべきか、また、本学が学生に対して何を身につけさせるべきか、その求められる役割について再考することを目的とした。

(2) アンケート調査期間

2019年10月9日(水)～2019年11月16日(土)

(3) 調査対象

園を訪問しアンケート調査を依頼し後日回収した。調査対象は、福岡県C地区の保育園、幼稚園、認定こども園計6園の保育者。回答者数68名(男性4名 女性64名: 20代17名 30代20名 40代19名 50代以上12名)

(4) 調査内容

アンケート内容については、先行研究として文部科学省委託事業「短期大学における今後の役割・機能

に関する調査研究」成果報告書で提示された項目をもとに林（2014）が実施した研究論文「保育者養成校に求められる学生の保育実践能力と資質について」で用いられた調査項目を使用した。①新入職者に望む保育実践能力20項目、②新入職者に望む保育者としての資質20項目について尋ね、それぞれに対して「非常に重視」（5）から「全く重視していない」（1）までの5段階尺度で回答を得た。

また、新入職者として保育現場に入る前に「学生のうちに身につけてほしいこと」として、自由記述での回答を得た。

2. 調査結果

（1）全体の結果

「新入職者に望む保育実践能力」では、15項目で「標準」が半数以上を占めている。5段階評価で「重視」と「非常に重視」を足した「重視する」の割合が高かったのは「子どもの特性や個性に合わせた保育展開能力」（58.8%）「保護者への対応力」（57.4%）「環境に合わせた保育展開能力」（51.5%）で、「標準」の割合を上回っている。続いて「運動遊びを展開する能力」「制作指導力」「読み聞かせの表現」「保健衛生や安全についての技術」が45.6%である。

「全く重視していない」と「あまり重視しない」を足した「重視しない」の割合は全体に低いが、その中で目立ったのは、「ピアノ技術」（20.6%）「絵画造形能力」「運動能力」（14.7%）で、「全く重視していない」との回答者も見られる。「絵画造形能力」「運動能力」に関しては「標準」が7割を占めている。（図表1）

「新入職者に望む保育者としての資質」では、12項目で半数以上が「重視する」と回答している。特にその割合が高いのは「子どもに対する信頼と責任感」（86.8%）、「組織の一員としての自覚、責任感、協同性」「適切な言葉遣い」（80.9%）で8割を占めている。続いて「子どもの心情を思いやり共感する力」「時間を守り、自分の課題を自己管理できる力」（76.5%）、「人との約束を守る力」（73.5%）、「物事に進んで取り組む力」（70.6%）が7割を占める。

「重視しない」と回答した割合の割合は低く、ほぼゼロに近いが、「個性の豊かさ」（8.8%）「職業論理感・人権意識」（4.4）「文化や社会に対する意識・教養」「他人に働きかけ巻き込む力」「文書や手続き等のツジツマが合わない点に気づき報告できる力」（2.9%）が若干見られた。（図表2）

図表1 新入職者に望む保育実践能力について(全体 N=68)

	重視しない			3	重視する			合計割合%
	1	2	合計割合%		標準	4	5	
	全く重視していない	あまり重視していない				重視	非常に重視	
	割合%	割合%	割合%		割合%	割合%		
1	ピアノ技術	1.5%	19.1%	20.6%	52.9%	22.1%	4.4%	26.5%
2	絵画造形能力	1.5%	13.2%	14.7%	72.1%	10.3%	1.5%	11.8%
3	運動能力	1.5%	13.2%	14.7%	72.1%	10.3%	2.9%	13.2%
4	運動遊びを展開する能力	0	4.4%	4.4%	50.0%	39.7%	5.9%	45.6%
5	音楽遊びや伝承遊びを展開する能力	0	2.9%	2.9%	55.9%	33.8%	7.4%	41.2%
6	制作指導力	0	2.9%	2.9%	51.5%	33.8%	11.8%	45.6%
7	読み聞かせの表現力	0	4.4%	4.4%	50.0%	36.8%	8.8%	45.6%
8	自然と触れ合う力	0	5.9%	5.9%	55.9%	32.4%	5.9%	38.2%
9	生活援助・養護技術	0	7.4%	7.4%	47.1%	39.7%	4.4%	44.1%
10	食育に関する指導力	0	8.8%	8.8%	57.4%	29.4%	4.4%	33.8%
11	保健衛生や安全についての技術	0	7.4%	7.4%	45.6%	33.8%	11.8%	45.6%
12	保健衛生や安全に対する指導力	0	7.4%	7.4%	51.5%	29.4%	11.8%	41.2%
13	行事などの企画力	0	4.4%	4.4%	60.3%	29.4%	4.4%	33.8%
14	指導案などの立案能力	0	5.9%	5.9%	55.9%	30.9%	7.4%	38.2%
15	園便りなどの文章力や言語能力	0	4.4%	4.4%	58.8%	26.5%	8.8%	35.3%
16	環境に合わせた保育展開能力	0	1.5%	1.5%	45.6%	45.6%	5.9%	51.5%
17	子どもの特性や個性に合わせた保育展開能力	0	2.9%	2.9%	38.2%	42.6%	16.2%	58.8%
18	特別支援保育や障がい児保育に関する技術	0	4.4%	4.4%	61.8%	25.0%	8.8%	33.8%
19	保護者への対応力	0	1.5%	1.5%	39.7%	41.2%	16.2%	57.4%
20	研究や情報処理能力	0	7.4%	7.4%	69.1%	19.1%	4.4%	23.5%

図表2 新入職者に望む保育者としての資質について(全体 N=68)

	重視しない			3	重視する			
	1	2	合計割合%		標準	4	5	合計割合%
	全く重視していない 割合%	あまり重視していない 割合%			重視	非常に重視		
1 文化や社会に対する意識・教養	0	2.9%	2.9%	69.1%	25.0%	1.5%	26.5%	
2 子どもに対する信頼と責任感	0	0	0.0%	13.2%	42.6%	44.1%	86.8%	
3 組織の一員としての自覚、責任感、協働性	0	0	0.0%	19.1%	52.9%	27.9%	80.9%	
4 保育現場でのコミュニケーション能力、提案力	0	0	0.0%	32.4%	47.1%	20.6%	67.6%	
5 職業論理観・人権意識	0	4.4%	4.4%	64.7%	23.5%	5.9%	29.4%	
6 個性の豊かさ	0	8.8%	8.8%	60.3%	22.1%	8.8%	30.9%	
7 子どもの心情を思いやり共感する力	0	0	0.0%	23.5%	50.0%	26.5%	76.5%	
8 自己省察力	0	0	0.0%	67.6%	25.0%	7.4%	32.4%	
9 社会生活や職業生活を通じて自分の能力を伸ばす力	0	0	0.0%	61.8%	27.9%	7.4%	35.3%	
10 他人に働きかけ巻き込む力	0	2.9%	2.9%	70.6%	20.6%	5.9%	26.5%	
11 物事に進んで取り組む力	0	0	0.0%	29.4%	50.0%	20.6%	70.6%	
12 文書や手続き等のツジツマが合わない点に気づき報告できる力	0	2.9%	2.9%	70.6%	25.0%	1.5%	26.5%	
13 TPOに適したビジネスマナーに即した行動ができる力	0	0	0.0%	57.4%	33.8%	8.8%	42.6%	
14 基本的な生活習慣に沿って行動できる力	0	0	0.0%	42.6%	41.2%	16.2%	57.4%	
15 時間を守り、自分の課題を自己管理できる力	0	0	0.0%	23.5%	54.4%	22.1%	76.5%	
16 自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力	0	0	0.0%	48.5%	36.8%	14.7%	51.5%	
17 人との約束を守る力	0	0	0.0%	26.5%	42.6%	30.9%	73.5%	
18 保育者として専門的な知識や考えが身についているか	0	1.5%	1.5%	44.1%	39.7%	14.7%	54.4%	
19 危機管理能力	0	0	0.0%	29.4%	48.5%	20.6%	69.1%	
20 適切な言葉遣い	0	0	0.0%	19.1%	45.6%	35.3%	80.9%	

(2) 年齢別の結果

それぞれの項目について、「非常に重視」(5)、「重視」(4)、「標準」(3)、「あまり重視しない」(2)、「全く重視していない」(1)の平均値を出した。

「新入職者に望む保育実践能力」について、全体と年齢別に20代、30代、40代、50代以上と分類した。それぞれの平均値を出し、以下のような特徴が見られた。(図表3)。

・20代の平均値は全体の平均よりも高い項目が多い。それに対し、50代以上の平均値は全体の平均よりも比較的低い傾向がみられる。

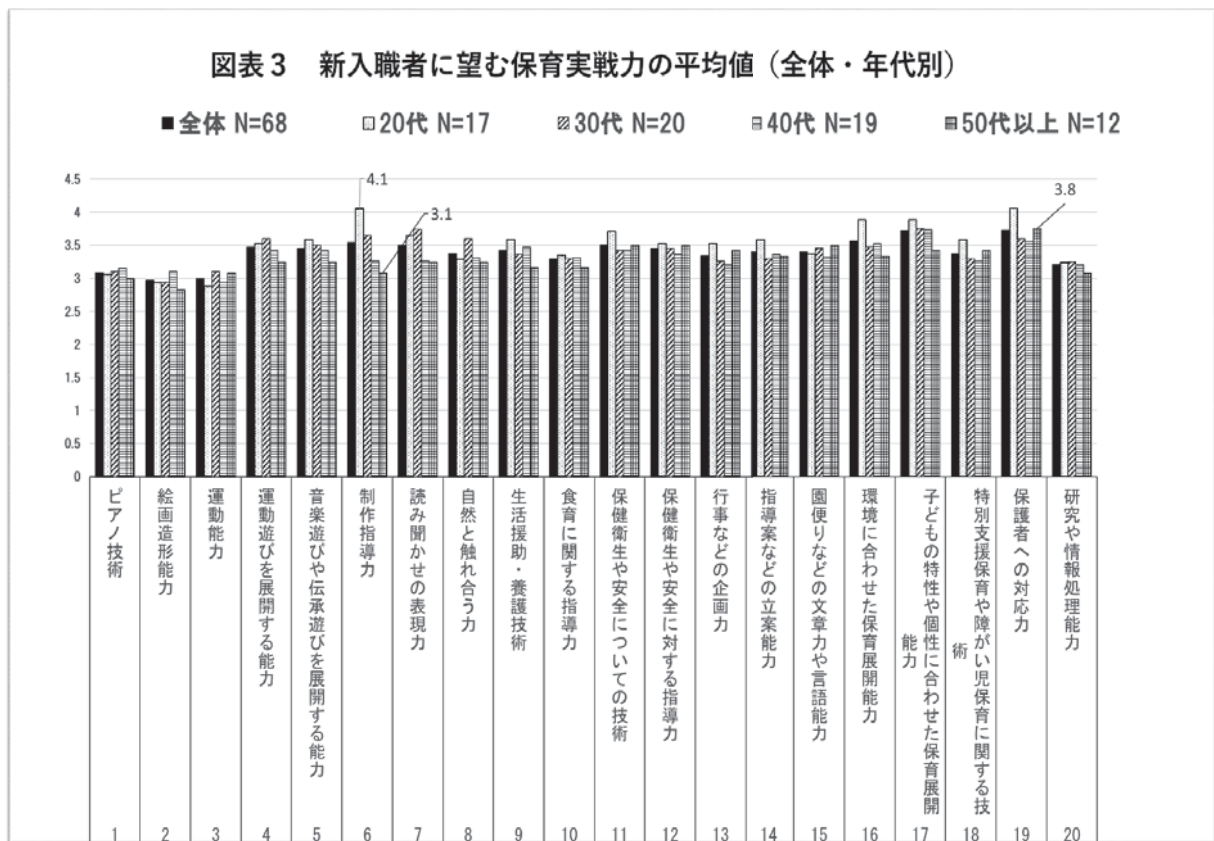
・20代の平均値がもっとも高い「制作指導力」(4.1)に対し、50代以上の平均値は(3.1)低い位置にある。

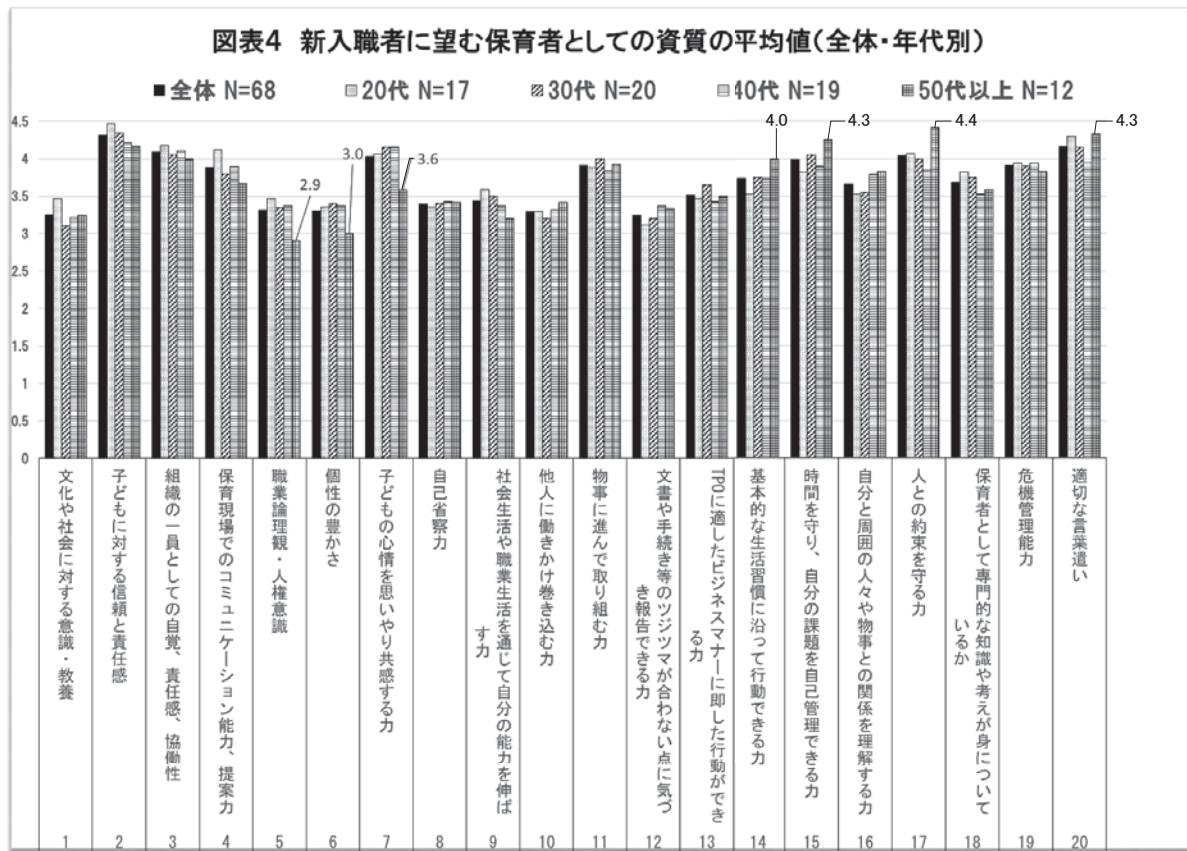
・50代では、「ピアノ技術」や「絵画造形能力」といった指導力よりも、保護者への対応力や保健衛生や安全に関する項目に高い数値が見られた。その中でも最も高いのは、「保護者への対応力」(3.8)であった。

「新入職者に望む保育者としての資質」については、以下の特徴が見られた。(図表4)

・「子どもに対する信頼と責任感」は、全体の平均値は最も高いが、年齢が上がるにつれて、平均値が低くなる傾向にある。

・50代以上では、「時間を守り、自分の課題を自己管理できる力」、「基本的な生活習慣に沿って行動できる力」「人との約束を守る力」「適切な言葉遣い」など平均値が高い。しかし、一方で、他の年齢と比べ、「子どもの心情を思いやり共感する力」(3.6)、「個性の豊かさ」(3.0)「職業論理観・人権意識」などが(2.9)低い。





(3) 自由記述

「学生のうちに身につけてほしいこと」について自由記述は23件得られた。同じ内容も見られたため、それらはまとめ表の通り整理した。(図表5)

多く見られた回答として健康管理、社会人としてのマナー、やる気と向上心など保育士に限らず一般的な社会人として必要な項目が挙げられた。

図表5. 「学生のうちに身につけてほしいこと」自由記述

・掃除、洗濯、料理、マナー、世の中の常識、家族や友達とのコミュニケーション、笑顔、思いやり、自分自身の生活態度、健康、自分が後輩だという意識、先輩への配慮。
・社会性を身につけること。
・柔軟な心。
・報連相(報告・連絡・相談)ができること。
・進んで周囲から学びとろうとする姿勢 言葉遣いや基本的マナー。
・常に笑顔で心がけること(保護者や子供が近寄りやすい雰囲気作り) 曖昧な態度をとらず、明確な受け答え。
・社会人としてのマナー(挨拶、言葉遣い、態度など)は最低限身につける。
・保育士資格を有することの高い自信、将来大きく期待のできる子ども達と保育を通して関わることのできる喜びと責任。
・技術、知識はあとからでも身につく。やる気と向上心。
・保育士は体力が必要。規則正しい生活、病気にならない免疫力、早番、遅番をするため不規則なリズムにも対応できる力が必要。
・今のうちに体力作りをおすすめする。また、手遊びや簡単なゲームなど即実践できるような引き出しをたくさん持っておく。
・友だち、家族、職場の先生など相談できる相手を見つける。
・表現力は豊かな方が園児と共感するうえで大切。喜怒哀楽で子どもと接し、笑顔で接するように心がける。何にでも感動できる気持ちは養っておく。
・分からないことはそのままにせず解決できるようにする気持ち。明るく人と関わること。元気に毎日出勤。
・学生のうちではないけど「分からない」ことがあればきちんと聞くことは大切。
・何事でも言葉ではっきり言えること。
・語彙力、意欲、才知、指導に耐える理解力と行動力。
・体調管理、臨機応変、礼儀。

3. 考察

本調査結果では、保育現場からは新入職者に望むものとして「保育実践能力」はもちろんであるが、保育者としての「資質」は、より求められる傾向が見られた。その中でも「子どもに対する信頼と責任感」、「組織の一員としての自覚と責任感、協同性」、「適切な言葉遣い」、「時間を守り、自分の課題を自己管理できる力」など、社会人として最も必要な規範意識をもって行動できる力が求められている。

保育所保育指針第1章総則に盛り込まれているにもある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中に協同性、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合いがある。これらの力を育てる立場であり、子どもと向き合っていく大人として、自己肯定感を持ち、個人として豊かな人間性を有すること、年齢を問わず相手の言うことを理解でき、自分の思いを適切に伝えることができる、すなわち適切なコミュニケーションがとれることなど、基本的な人間関係のルールを知り、行動できることが基本だからと考える。

保育者の人間性は人的環境として子どもに影響を及ぼすことが考えられる。そのため、学生のうちから常に学び続ける姿勢を持つことで「資質」として身につけていこう。

また、「学生のうちに身につけてほしいこと」として挙げられた内容は、保育士の専門性だけでなく、社会人として身に付けておくべき基本的な意識やマナー・行動などが中心である。

全国保育士養成協議会が実施した保育士の専門性についての調査報告書(2014年)では、「保育者基礎力」「保育に向かう態度」「専門的知識・技能」について、保育士の専門性の成長プロセスを分析している。

その中で、言葉遣い・マナー、愛情や思いやりといった基本的な態度は、専門性以前のものとして養成

課程の段階で身につけておくことが求められている。また、発達理解や保育に関わる基礎的事項など基本的な知識を習得し発揮することも養成課程で求められている。

そして、勤務の年数に応じて、仕事への取り組み方や子ども、保護者、保育者に向き合う態度やスキル、保育の柔軟さ、職場でのリーダーシップスキルなど経験に応じた専門性の成長プロセスが示唆されている。本調査でも年齢によって新入職者に望む実践能力や資質に違いが見られるのは、役職や勤務年数によって現場で担う役割や職務内容が変化していくことも要因と思われる。また、新入職者として現場に出た時代の子どもを取り巻く社会環境や、保育士養成カリキュラム、保育所保育指針など求められる保育内容もその要因と考えられる。

これらから、養成段階では社会人としての就業意識を身につけておくことが重要と思われる。これは、一朝一夕に身につくものではない。学校生活、実習やボランティア活動など日々の生活や経験を通して獲得していくものである。特に短期大学においては、2年間という短い期間で、基本的な専門知識や技術を学修し、同時に社会人としての基本的な行動や意識を醸成していく必要があるため、日々それを意識して行うことが重要と思われる。

今回の調査結果では、発達理解や保育に関わる基礎的な事項として、実践能力の全ての項目で「標準」以上の修得が求められている。その中でも特に「環境に合わせた保育展開能力」「子どもの特性や個性に合わせた保育展開能力」「保護者への対応力」は重視されており、子どもへの関わりや保護者対応は新入職者にとって重要な専門性と考えられる。

新入職者に望む実践能力で特に低かった項目として「ピアノ技術」、「絵画造形能力」、「運動能力」に関しては、現代の保育士不足という点から保育者の精神的な負担を軽減するとともに、個々人の得意・不得意といった個性という捉え方もあるのではないだろうか。この3項目に関しては「プロの講師」に任せることで、子どもたちの能力も習い事へ行くのではなく、園生活の中で伸ばすことが可能になるのではないかと思う。

保育の技能や知識といった専門性には、ピアノや絵画、運動力など、本人の日々の努力やこれまで培ってきたもので対応できるものもあれば、保護者対応や子どもの様子を十分に捉えて行う立案など、日々の実践や経験を経て身につく専門性もある。また、「危機管理」といった、授業の中で具体的かつ実践に行うには難しいものもある。その中で養成課程においては、保育に関する基礎を学修し、現場での経験を通して、卒業後も学び続ける姿勢を身につけることが大切だと感じた。

4. まとめ

本研究では、保育現場において新入職者に求める保育実践能力と保育者としての資質について、幼稚園、保育園、認定こども園の保育者の方々に対して行ったアンケート調査により分析を試みた。今回の調査は、調査園数も限られているため、量的研究としては十分な検証とは言えない。しかし、先行研究と同様に、保育現場で求められるのは、「保育実践能力」はもちろんであるが、保育者としての「資質」は、より求められることが明らかになった。その中でも子どもへの関心と責任という子どもへの強い思いが求められていること、そして自己管理能力や言葉遣い、時間守るなどの社会性やマナーも求められている。

さらに、保育士の専門性は、養成課程を経て現場での実践や経験を通して成長していくものである。そのため、養成課程での学びにおいては自己学習力、自己研鑽力といった力も身につけることが重要である。

謝辞

お忙しい中、本研究の調査にご協力いただいた幼稚園、保育園、認定こども園の保育士の方々に感謝申し上げます。

《参考文献》

佐藤弘毅他（2011）『短期大学における今後の役割・機能に関する調査研究成果報告書』

全国保育士養成協議会（2019）『保育士試験合格者の就職状況等に関する調査研究報告書』全国保育士養成協議会

全国保育士養成協議会（2014）『平成 25 年度 専門委員会課題研究報告書 保育者の専門性についての調査—養成課程から現場へとつながる保育者の専門性の育ちのプロセスと専門性向上のための取り組み—第 2 報』全国保育士養成協議会

林悠子・森本美佐（2014）『保育者養成校に求められる学生の保育実践能力と資質について』奈良学園大学奈良文化女子短期大学部研究紀要 45, 123-130